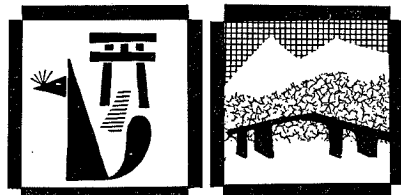


診断京都

(題字 橋口会長筆)



このパンフは(社)中小企業診断協会京都支部が発行しております

京滋みどころ



長浜盆梅展

長浜市の慶雲館で毎年1月10日から3月10日まで、小雪舞う寒のさ中に見事な花を咲かせる盆梅展が開られる。丹精こめてつくられた樹齢数百年の盆梅が100鉢近く並べられ、会場はむせるような梅の清香でいっぱいになる。また強靱な生命力はたとえようもなく高く奥ゆかしい。

尚 慶雲館は約100年前に長浜の豪商が明治天皇行幸に際し建設した。昨年12月に建築以来初めて大改修工事が終わり、装いも新たに変わった。

目次

〈京滋みどころ〉 長浜盆梅展	(1)
〈あいさつ〉 新春を迎えて	(2)
〈工場見学〉 寿長生の郷	(2)
〈景況〉 昭和61年の景況見通し	(3)
〈産業〉 京滋産業の動向と課題	(4)
〈提言〉 経営理念づくり	(6)
〈地域情報〉 昭和63年京都国体	(7)
滋賀県工業技術センター	(8)
〈資料〉 企業活動と情報	(9)
〈京都支部だより〉	(11)
〈会員の頁〉	(12)
〈企業広告〉	(13~14)



☆社団法人中小企業診断協会京都支部は、中小企業診断士で作っている団体で、京都府と滋賀県の各分野で活躍している約100名が加入しています。

☆中小企業診断士とは、通商産業大臣の認定を受けて登録している、わが国唯一の公的資格を有する経営コンサルタントです。

あいさつ

組織強化による事業拡大

—新春を迎えて—

(社) 中小企業診断協会京都支部

支部長 黒川 倉市

明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎えるにあたり、皆様のご健勝とご繁栄を心からお喜び申し上げます。

当支部の運営につきましては、平素関係諸団体並びに会員諸先生方格別のご指導とご協力によりまして、昨年もまたスムーズに進めてまいることができました。ここに厚くお礼を申し上げます。

この1年の事業活動といたしましては、例年の如く政府受託事業関係の中小企業診断士登録更新研修会の実施はもとより、機関紙「診断京都」の定期刊行。また資質の向上を目指す月例経営診断研究会、工場見学研修会の実施や学識経験者招へいによる講演会の開催。さらに京都市及び関係機関からの受託調査業務等これら支部の活動はもはや十分に定着しております。

殊に昨年は、当診断協会近畿ブロック会議をわが支部担当で開催し、本部より木村副会長、中谷専務理事並びに東京・愛知・三重の各支部長を迎え、ブロック内各支部長参加の下に、全国の情報交換の場を得ましたことは、まことに意義深く特筆すべき行事でありました。

さて、既にご承知の如く、中小企業診断士登録事務が当協会へ移譲される予定に伴い、その受入体制整備とともに全国的組織の確立が急がれております。このため、隣接滋賀県においても支部の設立は不可避の情勢にあり、目下県当局のご指導も得て、関係者による準備が進められ、遠からず新支部として発足されるものと期待しております。

しかし、反当面京都支部にとりましては、構成人員面の異動に伴う組織力への影響も若干懸念されますが、大局的見地から、わが診断協会組織強化のために、積極的な協力、支援を惜しんではならぬものと存じます。

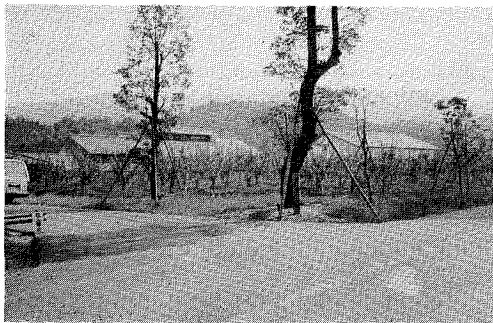
このような推移をご賢察の上、今年もまた格段のご支援、ご協力をお願い申し上げる次第であります。

工場見学

すな い さと
寿長生の郷

昭和60年10月24日支部工場見学研修会が開催され、大津市郊外にある(株)叶匠寿庵「寿長生の郷」を訪ねた。

広さが6万3,000坪あり、うち工房・研修棟の敷地が6,000坪もある。そこには梅・杏子・柚子・茶花などが植られ、川がつくられ、橋がかけられた広大なすばらしい自然庭園です。



全 景



長 屋 門

景況・業界動向

厳しさが予想される61年?! 経営向上のために脱皮を

——昭和61年の景況見通し——

昭和61年度の景況を、各種の資料を引用しながら予想してみたい。

まず、京滋の経済成長率を予測することにする。そのよりどころは国の経済成長率と京都府・市、滋賀県の同成長率との相関関係である。そのことを現在までに発表されている最近3年度の56、57、58年度の実績をみってみると次のとおりである。

名目総生産および成長率 (億円, %)

	国 国民総生産	対前 年度 比	京都府 府民総生産	対前 年度 比	京都市 市民総生産	対前 年度 比	滋賀県 県民総生産	対前 年度 比
57年度	2,674,835 (100)	5.0	55,478 (2.07)	2.6	35,964 (1.35)	1.5	26,323 (0.98)	8.3
58年度	2,785,912 (100)	4.2	57,190 (2.05)	3.1	36,689 (1.32)	2.0	27,962 (1.00)	6.2

(注) 1. () は国民総生産シェア
2. 国民総生産 59年度2,973,110億円 (新基準3,031,557億円)

これら地元3府県市の総生産額および成長率から国を基準として分かることは、㊦3府県市とも産業構造や基盤、ストック等の違いもあって必ずしも国の経済成長動向と一致していない。㊧京都府の56年度を除いて府、市とも国の成長率を下回り、国民総生産シェアが府は2.1%経済を割り込むところまで、また市は1.4%から1.3%経済に低下してきた。㊨滋賀県は国の成長率を上回り、1.0%経済のいわば大台に乗せた。——ことである。

さて、59、60年度を飛び越えて61年度の見通しであるが、国の経済成長率については“官高民低”すなわち民間機関は悲観的に、政府は楽観的に予測しているといわれる。そのうちの民間機関の予測値を引用してみよう。その数値は名目成長率4.4%、実質成長率3.2%という低さである。これは名目は58年度、または実質ではマイナス成長となった49年度に次ぐ低さになるという見方なのである。このようになる予測材料は円相場は年度平均203円、輸出伸び率1.1%、輸入同4%減となり、経常黒字は増える。賃上げ率は5.0%程度。可処分所得、民間最終支出、住宅投資、設備投資とも概して60年度より伸び率は鈍化し、ごく小幅の増加にすぎないとみられている。⁸⁾

このような国の経済成長率予測数値を参考にして、京滋の61年度の経済成長率を大胆に予想すると、名目で京都府3%台後半、京都市3%台前半、滋賀県4%台後半の伸びにとどまるのではなかろうか。⁴⁾ いずれにしても3府県市とも経済規模の拡大は小さく、経営を取り巻く環境は厳しいと言えよう。

次に、企業業績を地元の大手会社(上場21社)の60年9月期中間決算でみると、全体としては前年同期比1.8%の微増収、経常利益16.3%減収となっている。電子、半導体関連の売上げ鈍化や円高による為替差損が主に原因している。21社のうち増収増益は6社にすぎず、減収増益2社、増収減益5社、また減収減益が5社、そして赤字が3社ある。⁹⁾

このような企業業績の低滞は60年下期(61年3月期)実質減益、61年上期(61年9月期)も

(4) 診断京都

減益となる。しかし61年下期(62年3月期)はハイテク不況の立ち直りなどで急速な回復、61年通年では小幅ながらも増収増益の予想がなされている。⁶⁾

このような情勢推移になるかどうかの経営環境条件は諸外国の経済動向、円レートの変動幅と推移、各分野の市場開放の進展度合、賃上げ率、内需振興対策の中身と規模などの要因によって流動的である。従って、それらの動向に着目すべきであるが、願わくばそれらが合計ではプラス要因となって前述の予想成長率を上回るような希望の持てる年になってほしいものである。上述の地場大手の中にも時代ニーズに対応したキメ細かな製品開発や新製品販促、合理化によって増収増益を果している企業も見られる⁷⁾ごとく、中小企業においても環境の厳しいときにこそ新製品、新技術、新素材の開発、新市場・新仕入先の開拓に努力し、経営向上のための脱皮のビジネスチャンスにしてもらいたいものである。

(注) 3) 60.12.18付日本経済新聞、日本経済研究センターの予測を要約

4) 国民総生産シェア府2.005%、市1.285%、県1.02%を想定

5)、7) 60.11.30付京都新聞から要約

6) 60.12.10付京都新聞、野村総研調べから要約

産 業

V B が注目される京都産業、1%経済を支える滋賀の工業

— 京滋産業の動向と課題 —

京都、滋賀の産業構造はいま大きく変容している。京都の産業はとかく古さが強調されがちだが、経済・社会環境の変化に対応して素材型から加工型へ徐々に移行している。

伝統産業の中にも先端技術を導入する動きが見られ、小規模ながらユニークで付加価値の高いベンチャービジネスが南部地域で群生している。

しかし、主要産業である和装繊維工業が構造不況に見舞われて縮小過程に追い込まれており、これに代わるべき電機・機械工業も力強さを欠いている。主役不足の産業をどう活性化していくかが最大の課題である。

一方、滋賀では、近年ここに工場を建てる企業が続出。製造品出荷額は間もなく京都府のそれを追い抜く勢いを示している。もっとも工業化の進展は三次産業未発達というひずみをもたらし、特に貧弱な商業をどう育てていくかが問題になっている。

● 高い第三次産業の比率

京都府の産業構造は、全国水準に比べて、第一次産業の比重が低く、第二次、第三次の比率が高い「都市型構造」を示している。

その特徴を列挙すると、

① 伝統産業の存在が大きい。業種は西陣織、京友禅、清水焼など多業種にわたり、伝産法指定品は15品目に上っている。いずれも技術水準が高く多品種少量生産に徹している。

② 繊維工業の比重が高い。西陣織、丹後織物、京友禅などを中心に、工場数で6割、従業員数で3割、製造品出荷額で2割を占めている。

③ 少規模企業が多い。従業員3人以下の零細企業が、全産業の63%を占めている。

④ 第三次産業の比重が高い。府内総生産に占める第一次産業は1.3%、第二次は35.9%、第三次は62.9%。和装の全国集散地に発展した室町卸の存在が大きく、また教育、宗教に関連した商業、サービス業も多い。

⑤ 産業の集積が偏在している。工場数で53%、出荷額で68%が京都市とその周辺に集中している。

● VB と先端技術

京都の産業は、高度成長時代には、全国から注目されることはほとんどなかった。しかし、石油ショックを境に、多品種少量生産で技術力のある中小企業が脚光を浴びることになり、京都産業が注目され始めた。

八幡市から相楽郡木津町までの木津川左岸に沿って走る府道は別名“ハイテク・ロード”と呼ばれる。京都、大阪の中間に位置し、比較的地価が安い上に、大学の研究施設や新幹線、高速道路にも近いというわけで、先端技術を売り物にしたベンチャービジネスが近年続々進出している。

京都市南区の久世工業団地はハイテク中小企業のメッカである。財団法人京都産業情報センターは、ここに工場アパート「マイコンテクノハウス京都」を開設した。また同センターは異業種交流事業にも力を入れており、中小企業の新しい生き方として全国から見学者が絶えない。

京都にベンチャー企業が育つ理由は、高い文化を背景に、一流好みという産業風土に加えて、地元金融機関の支援も見逃すことはできない。ある信用金庫は56年から無担保低利融資制度を設けてベンチャー融資に道を開いており、別の信用金庫も昨年1月からベンチャー育成のための投資機関を設立した。

停滞色が濃い繊維工業では、西陣産地でコンピュータを利用したデザイン制作が続けられ、友禅業界では洋装分野進出が試みられるなど、活路を拓く努力が展開されている。

● 必要な産業活性化

京都産業が直面している最大の問題は産業全体の活力が低下していることである。これまで京都産業を引っ張ってきた和装繊維業界はオイルショックを境に急速に力を失っている。これに代わる機関車役として期待されている電機・機械業界は所得、雇用面で繊維ほどの広がりがなく、主力工場が府外に流失するなど、力不足は否めない。その上、近未来の最重要戦略産業である情報産業が未発達の状態、観光産業や商業の力も弱い。

いま一つ見落としてならないのは、行政投資の不足である。長期間、革新府政が続いたため、近隣府県に比べて産業基盤の整備が遅れたが、最近になってこの立ち遅れは解消できず、58年度の住民一人当たりの行政投資額は全国水準の81%、42位の低さに止まっている。

2年後に迫った京都国体を控え、府内市町村ではいま受け入れ施設づくりが急ピッチで進められている。また、府南部では学研都市建設、北部では工場団地や道路整備、さらに8年後に建都千二百年を迎える京都市では記念プロジェクト計画が練られている。

こうした大型プロジェクトを京都産業の活性化にどう結びつけていくか、産官一体になった府民の知恵が求められている。

● “1パーセント県”の変身

滋賀県は“1パーセント県”だといわれる。地域のGNP、つまり滋賀の総生産は57年時で全国の0.9%であり、人口は0.94%を占めている。さらに面積を見ると1.06%になり、事業所数も1.04%を示している。

滋賀のGNPは近年急速に伸び、50年—57年の7年間に約2倍に達した。とりわけ第二次産業の増加が著しく、全産業に占める二次産業の比率は、57年段階で55.7%を占めるまでになり、完全な工業県に変身した。

京都、大阪や名古屋に近く、安い土地が豊富にあったことが、格好の内陸工業地域と評価され、草津・栗東など湖南地域を中心に大企業の工場が続々進出し、全国でもまれな製造業特化県を形成した。

よく知られているように、経済理論に「クラークの理論」というものがある。経済が成長す

(6) 診断京都

るにつれて、国や地域の産業は第一次産業から第二次へ、そして第三次にと変化することを教えている。つまりこの法則によると経済の最も発展した国や地域は第三次産業の比重が最大になるということである。だから第二次産業が最大の比重を占める滋賀の経済は、まだ発展途上の段階にあるといえる。

● 課題は第三次産業の振興

第三次産業のウェートは35.5%。今後この比率をいかに高めていくかが滋賀経済の課題である。とりわけ貧弱な商業をどうして振興していくかが焦びの急である。一商店当たりの従業員数、年間販売額、従業員一人当たりの年間販売額はいずれも全国平均より低い。中でも卸売業の1店当たり年間販売額は全国平均の38%、従業員一人当たり販売額は50%に過ぎない。

成長著しい二次産業にも問題がある。この成長は工場進出によってもたらされたものであり、本社機能に付随した情報部門の移転が伴っていない。地域社会との交流、融和も図られねばならない。

情報発信基地としての充実と、地域に根差した中小企業の育成が望まれる。

(船越 昇)

提言 (ちよっと一言)

全員参加の経営理念づくりを！

経営の理念の作成や見直しをはじめている中小企業のうわさを聞く。大企業であれば既に社是や社訓として定着しているが、中小企業の中には成文化していない企業も多い。経営理念が成文化していない企業では、トップの経営方針や目標が徹底せず、漠然と仕事をしている社員が多いようである。社員が各々の判断で行動するため、トップの考え方と食い違う場合が多々ある。

最近の経営理念づくりは、かつてのようにトップが一方向的に示して従わせる方法とは少し違うようである。一口で言えば、「全員参加の理念づくり」となっていることである。「わが社はこうあってほしい」というアンケートを全員に配布し、その結果をトップが読み取りトップの長期的な経営ビジョンも加味して決定している。すなわち、ボトムアップとトップダウンによる経営理念づくりが行われていることになる。

経営理念の内容は、顧客、商品、社員、技術、ノウハウ等を含んだ経営全般を表現しているものが多い。また、別の角度から見れば経営の科学性、社会性、人間性の面から一段とレベルアップできる内容ともなっていることが好ましい。一例として、「常に便利な製品を提供して広く社会に貢献しよう」(I製作所)があげられる。

経営理念の成文化の効果としては、

- ① 全社員の意志統一が図られる。
- ② 顧客、取引先、金融機関の信頼向上。
- ③ 業務の点検が容易となり、問題点の発見が容易となる。
- ④ 全員参加でつくられたものなら、自分達の会社という意識が芽生え、経営改善意欲が高まる。等が考えられるのである。

(中村 弘)

参考文献：経営指針確立と成文化のすすめ (中小企業家同友会全国協議会出版)

地域情報



シンボルマーク

新機軸の京都国体

—昭和63年京都国体の概要と特徴—



マスコット

昭和63年に国民体育大会が京都府で開催されることが決定している。

国民体育大会は39年の歴史を歩み、その間広く国民にスポーツを普及し、健康の増進、体力の向上を図ると共に地方スポーツの振興と地方文化の発展に大きく寄与してきたことは周知のとおりである。

昭和63年に開催される京都国体は昭和48年の沖縄本土復帰特別国体を除いて第43回目の開催にあたり次のような特徴をもっている。

- ① 2巡目国体のトップバッターとして「モデル国体」の性格をもっている。
- ② その後に迎える建都1200年の前行事的性格をもち、「躍動する京都づくり」の起爆剤となることを京都府では期待しており、また全国から注目されている。
- ③ 第21回の大分大会から大会テーマ、スローガン両方が掲げられる例となっていたが、今回は京都国体としてはスローガンを「新しい歴史に向かって走ろう」と決定している。

このスローガン「新しい歴史に向かって走ろう」は昭和63年から二巡目に入る国体の新しい歴史に向かって、さらに光輝く未来に向かって、みんなで進もうという意味が込められているものである。

- ④ 実施競技の市町村配置にあたっては、「府民総参加」の観点から出来るだけ多くの市町村に配置し、国体史上最高の市町村配置率86.4%（44市町村中38市町）となっている。
- ⑤ みんなで走ろう「炬火コース」は（オリンピックの聖火リレーのようなもの）であるが、「京都国体」では日常スポーツ活動に役立たせるために早期にコースを決定し、ジョギングコース等の「体力づくりゾーン」を設け恒久的な「府民スポーツ振興の施設」として位置づけている。また大会時の炬火は京都市・伊根町・南山城村でそれぞれ採火し通過する市町村の火を次々に合大し開会式前日に京都府庁前に集火されることも特色の一つである。
- ⑥ 京都国体の開催基本方針は「府民生活の充実と京都の発展を期して、躍動する京都づくりを推進する。」と唱っている如く、健康で豊かなコミュニティ形成を目指し、府民一人ひとり躍動するエネルギーを礎として豊かな心を育て、たくましい体をつくり明るい住み良い京都をつくることをねらいとしている。

以上の新しい主旨を盛り込んで、京都府では実のある大会開催を目指して着実に準備中である。日本全国民の協力を受け、また我々府民は英知を出しあって京都国体を成功させたいと願うものである。

尚、参考までに56年に国体を開催した滋賀県では観光客数が前年より6.5%伸び27,407千人となった。それを契機として誘致策の積極化とあいまって、その後もそれに上積みが続いている。（滋賀県観光物産課調べ）京都国体においてもこのような効果もたらされることが期待される。

（塩内長俊）

〈資料〉 —〈京都国体ガイド〉—より 第43回国民体育大会京都府実行委員会

地域にひらかれた技術革新のメッカ

——滋賀県工業技術センター——

滋賀県工業技術センターが昭和60年7月29日、滋賀県栗太郡栗東町上砥山にオープンした。名神高速道路栗東インターをおり、山手に向い、中央競馬会栗東トレーニングセンターや琵琶湖カントリークラブに行く途中にある。赤いレンガ造りのモダンな建物である。

現在、製品の多様化と技術の細分化、複合化の傾向が強まるなかで、中小企業は積極的に技術開発を行う必要がある。

同センターは県内中小企業の技術向上と技術開発を促進するため、また地域産業の技術振興の拠点として設置されたものである。

同センターは

- ① 産・学・官の連携拠点づくり
- ② 中小企業と大企業の連携拠点づくり
- ③ 企業の主体的参加利用の促進
- ④ 工業技術の発展、変化に対する柔軟な対応

を基本方針とし、財団法人滋賀県工業技術振興協会との一体的運営を特色としている。同協会は民間活力を活用し、県との合同で組織されたものである。

同センターは電子、機械、工業材料、化学、食品、デザインの部分を中心とした技術に関するものであり、

㊦相談と指導

新技術、新製品の開発、既存技術の普及、先端技術の適用、研究者・学識経験者を顧問とする、巡回指導、アドバイザーの派遣

㊧研究開発

技術開発に役立つ、民間による自主研究・共同研究、研究参与を招き体制強化、産・学・官の共同プロジェクト

㊨試験分析

計測機器の開放、という事業内容になっている。

一方(財)滋賀県工業技術振興協会は

㊩技術者の研修

人材育成、実地研修、講師として大学等の学識経験者の確保

㊪情報の提供

新技術動向の整備・提供、試験・研究成果の公表、日本特許情報センター等オンライン化、科学技術人材紹介サービス

㊫技術交流・人的交流

技術交流プラザの開催、講演会・セミナーの開催、交流サロンの設置の事業を実施する。

以上だれでも気軽に相談できるセンターであり、民間企業に役立つ技術開発の推進を行なうものである。さらに産・学・官の交流推進の場を提供してくれるものである。

中小企業は技術力の向上を図るなかで多くの課題を有している。しかし当センターは「地域にひらかれた」工業技術振興の拠点であり、人材・情報等々の課題に対しては円滑に対応されるものである。今後地域経済の発展、活性化のための期待は大きい。

(奥村久一郎)

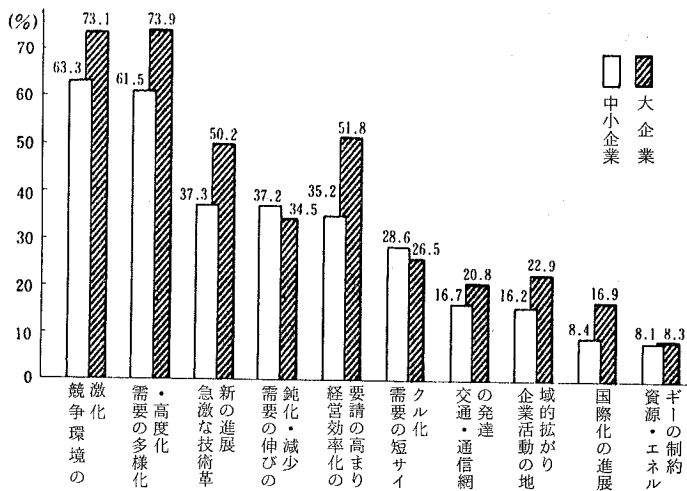
資料・情報

企業活動と情報

所得水準の向上、価値観の多様化等を背景に需要の多様化・高度化のなか需要構造の変化は限られた市場において競争を激化させる。他方供給面において、新製品開発・高品質化のための技術革新や生産工程の合理化等の対応を求める。

企業活動において情報活動の重要性の高まりをもたらした要因は次のとおりである。

- ① 競争環境の激化
- ② 需要の多様化・高度化
- ③ 急速な技術革新の進展
- ④ 経営効率化の要請の高まり 等である。



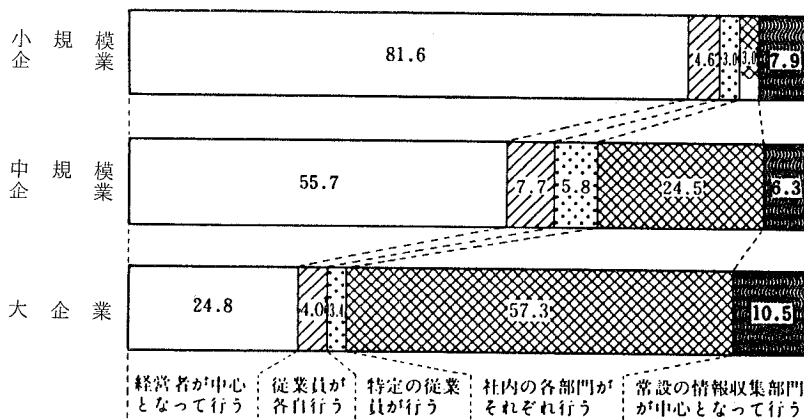
資料：中小企業庁「製造業情報化実態調査」、「経営実態調査」59年12月

- (注) 1. 製造業、卸売業、小売業、サービス業についての集計である。
 2. 複数回答のため合計は100を超える。

図1 情報活動の重要性の高まりをもたらした要因

・情報収集体制

中小企業において情報収集活動を行なっている企業の割合は90%（大企業97%）であり、その体制は経営者を中心としたものである。



資料：中小企業庁「製造業情報化実態調査」、「経営実態調査」59年12月

- (注) 図1 (注1)と同じ。

図2 情報収集の体制 (単位：%)

表1 中小企業の情報ニーズ

	製造業	卸売業	小売業
重要性の高まっている情報	1 技術情報	商品情報	消費者ニーズ情報
	2 業界情報	業界情報	商品情報
	3 原材料情報	価格情報	価格情報
	4 ニーズ情報	消費者ニーズ情報	業界情報
	5 価格情報	顧客情報	売れ筋・死に筋商品に関する情報
	6 流通・マーケティング情報	流通・マーケティング情報	顧客情報
	7 雇用・労務・人材情報	企業ニーズ情報	地域情報
不足している情報	1 技術情報	消費者ニーズ情報	消費者ニーズ情報
	2 ニーズ情報	顧客情報	売れ筋・死に筋商品に関する情報
	3 流通・マーケティング情報	流通・マーケティング情報	顧客情報
	4 雇用・労務・人材情報	企業ニーズ情報	業界情報
	5 業界情報	業界情報	商品情報
	6 価格情報	商品情報	流通・マーケティング情報
	7 情報がどこにあるかに関する情報	価格情報	価格情報
今後重要性の高まる情報	1 技術情報	消費者ニーズ情報	消費者ニーズ情報
	2 ニーズ情報	商品情報	商品情報
	3 流通・マーケティング情報	業界情報	顧客情報
	4 業界情報	顧客情報	業界情報
	5 価格情報	流通・マーケティング情報	価格情報
	6 原材料情報	価格情報	売れ筋・死に筋商品に関する情報
	7 海外情報	企業ニーズ情報	流通・マーケティング情報

資料：中小企業庁「製造業情報化実態調査」59年12月

(注) 「重要性の高まっている情報」, 「不足している情報」, 「今後重要性の高まる情報」のそれぞれについて, 上位7項目を表にしたものである。

・中小企業の情報ニーズ

今後、重要性の高まる情報は技術情報、ニーズ情報、商品情報等があげられる。

・情報収集源

中小企業では情報収集源として次のようなものが多い。

- ① 業界紙・専門誌
- ② 新聞・テレビ・一般雑誌
- ③ 販売先企業
- ④ 親企業
- ⑤ 同業者

中小企業が情報収集活動をより活発化していくためには、①経営者や個々の従業員が日常的な生産活動の販売活動を通じて行う情報収集の目的意識化、②企業内情報の積極的な摂取、③共同化・グループ化による広範な情報の収集・蓄積、④大学等の学術機関、国・公設試験研究機関、中小企業地域情報センター等の日常的取引関係を超えた情報収集源の有効活用を図ることが重要である。

(奥村久一郎)

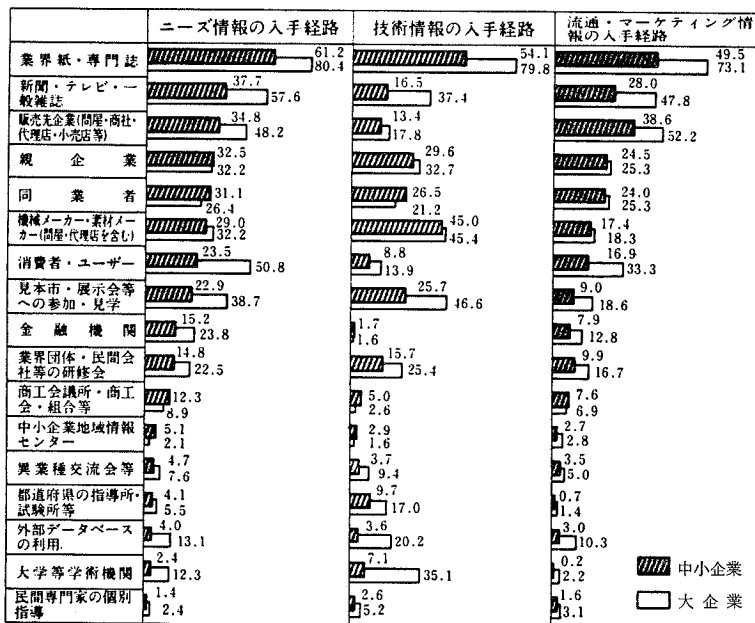


図3 企業外部の情報収集源 (製造業) (単位: %)

出所「昭和60年度図でみる中小企業白書」から抜萃

資料：中小企業庁「製造業情報化実態調査」59年12月
(注) 複数回答のため合計は100を超える。

京都支部だより

- 60. 6.15 中部ブロック会議（三重県支部主催）が伊勢志摩で開催され、黒川支部長出席
- 6.27 60年度第1回全国支部長会議が本部において開催され、黒川支部長が出席した。
- 7.25 昭和60年度京都地区登録更新研修実行委員会を支部事務所において開催し研修実行の細部を打合せた。
- 8. 1～2 昭和60年度中小企業診断士登録更新研修会を京都府労働会館で開催し、商業部門73名、工鉱業部門39名が熱心に受講した。
- 8. 8 「診断京都」第34号を発行し、会員並びに関係先へ配布した。
- 8.29 京都市から昭和59年度「京都市中小製造業の生産性と賃金」の調査の委託を受け、受託契約をした。
- 9. 5 60年度第1回大阪通産局管内診断研究会（工業部門）が大津いこいの村びわ湖において開催され黒川支部長、黒崎副支部長が出席した。
- 10. 4 京都支部「会員名簿」を発行し発送した。
- 10.24 支部工場見学研修会を開催し、叶匠寿庵「寿長生の郷」を訪ねた。参加者51名。
- 10.29 支部事務所にて副支部長会を開き、黒川支部長より滋賀県支部設立に関する進捗状況報告並びに当支部としての対応を協議した。
- 11. 8 京都公開経営指導協会から昭和59年度「京都市中小商業の販売生産性と人件費」の調査の委託を受け、受託契約した。
- 11.15 60年度近畿ブロック会議が有馬瑞宝園で開かれ黒川支部長、黒崎副支部長が出席した。
- 11.30 京都市と京都公開経営指導協会から受託した調査業務をそれぞれ完了し、報告書を提出した。

12.31 「診断京都」第35号を発行し、全会員並びに関係先へ配布した。

○会員の消息

- 加入
(第一種会員)
千々波行弘氏 茨木市舟木町8-3
(勤務先：日本信託銀行京都支店)
- 大西 純一氏 京都市左京区下鴨岸本町17-3
商工中金岸本町寮
(勤務先：商工中金京都支店)
- (第二種会員)
藤田 忠男氏 京都市左京区北白川地蔵谷町1-200
(勤務先：京都府立中小企業総合指導所)

<移籍>

- (第一種会員)
竹山 隆造氏 京都市伏見区深草中ノ島町33の38
(勤務先：市立西京商業高等学校)
- 熊谷 直行氏 京都府綾部市新宮町5-1

• 変更

- (第一種会員)
大谷 武重氏 勤務先：滋賀銀行本店
所在地：大津市浜町1番38号
- 大都城是二氏 勤務先：株式会社ダーバン
所在地：東京都品川区西五反田8丁目8番20号
- 清水 久子氏 勤務先：清水会計事務所
所在地：亀岡市西堅町25-5

(第二種会員)

- 泉 博氏 勤務先：京都府向日市地方振興局
所在地：向日市上植野町馬路8

• 他支部へ移籍

(第一種会員)

- 西村 弘氏 大阪支部へ
- 伊庭 栄氏 東京支部へ

中禮 宗一氏 熊本支部へ

• 脱退

- (第一種会員) 田中 芳夫氏
- (第二種会員) 田中 孝行氏

尚この間以下経営診断研究会を開催し勉強した（毎月第2木曜日）

月日	回数	場所	テーマ
7・11	10回	京都府立労働会館	パソコンを使った経営コンサルティング
9・12	11 "	京都商工会議所	金融について
10・11	12 "	"	外部委託事業について 1
11・14	13 "	京都府立労働会館	" 2
12・12	14 "	"	不動産業界における中小企業

謹 賀 新 年

昭和61年新春

中小企業診断士

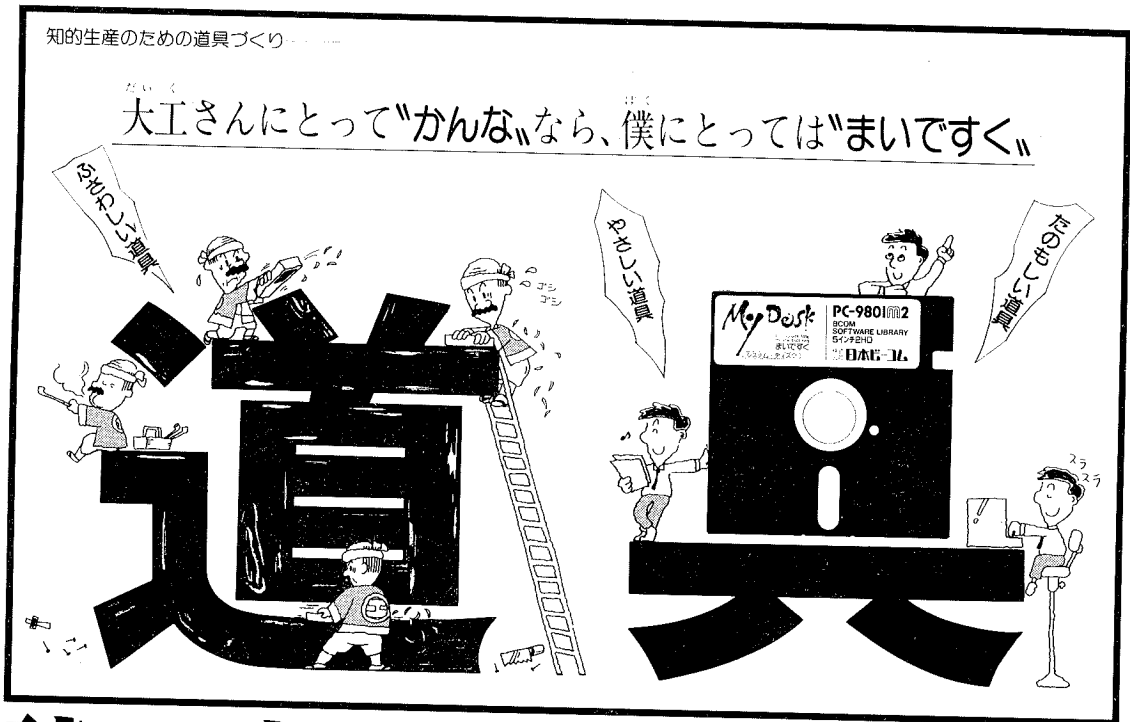
(社) 中小企業診断協会京都支部有志

<p>荒尾 義晴</p> <p>京都市下京区下魚棚通堀川西入</p> <p>TEL 341-5331(代) 〒600</p>	<p>黒崎 徳之助</p> <p>京都市上京区浄福寺通下立売下る 中務町490-19</p> <p>TEL 801-0501(代) 〒602</p>	<p>中谷 弥太郎</p> <p>京都市下京区東洞院通五条上る</p> <p>TEL 351-8449・2140 〒600</p>
<p>大木 徹</p> <p>京都市東山区問屋町通五条下る 3丁目</p> <p>TEL 561-6171~4 〒605</p>	<p>塩内 長俊</p> <p>京都市北区大宮玄塚北東町1-7</p> <p>TEL 492-7044 〒603</p>	<p>中野 善蔵</p> <p>京都市上京区西日暮丸太町下る 四丁目</p> <p>TEL 811-2750・8732 〒602</p>
<p>大幡 義夫</p> <p>京都市下京区黒門通五条下る</p> <p>TEL 351-2552・6860 〒600</p>	<p>品川 弥太男</p> <p>京都市左京区一条寺松原町101</p> <p>TEL 721-4078 〒606</p>	<p>中村 弘</p> <p>大津市石場1-1</p> <p>TEL (0775)25-7343 〒520</p>
<p>奥平 恒巳</p> <p>京都市西京区大枝西新林町6-15-3</p> <p>TEL 331-1204 〒610-11</p>	<p>柴垣 秀雄</p> <p>京都市北区上賀茂神田町49</p> <p>TEL 781-9596 〒603</p>	<p>西畑 好彦</p> <p>京都市中京区西洞院通二条上る 薬師町652</p> <p>TEL 231-5207 〒604</p>
<p>奥村 久一郎</p> <p>滋賀県栗太郡栗東町上砥山1252</p> <p>TEL (0775)58-1219 〒520-30</p>	<p>高木 健次</p> <p>京都市北区大將軍西町80</p> <p>TEL 463-8877 〒603</p>	<p>堀村 清蔵</p> <p>京都市下京区西洞院通七条上る</p> <p>TEL 361-4455(代) 〒600</p>
<p>片岡 憲男</p> <p>京都市中京区丸太町通衣棚西入 玉植町222</p> <p>TEL 256-1880(代) 〒604</p>	<p>たち 城 道雄</p> <p>京都市右京区嵯峨朝日町2の16 幸栄ビル3階</p> <p>TEL 881-2135 〒616</p>	<p>村上 泰三</p> <p>京都市上京区大宮通下立売上る家 永町769</p> <p>TEL 841-6709 〒602</p>
<p>久保 文男</p> <p>京都市中京区室町通夷川上る鏡屋町 36の2</p> <p>TEL 231-0403 222-0403 〒604</p>	<p>玉垣 勲</p> <p>京都市西京区川島尻堀町31-6</p> <p>TEL 391-5963 〒615</p>	<p>山口 敏雄</p> <p>京都市左京区吉田近衛町26の62</p> <p>TEL 761-1514 〒606</p>
<p>黒川 倉市</p> <p>京都市中京区丸太町通東洞院東入る 藤原ビル</p> <p>TEL 211-6010 〒604</p>	<p>中窪 嘉邦</p> <p>京都市右京区御室小松野町31の3</p> <p>TEL 462-7497 〒616</p>	<p>和田 忠儀</p> <p>京都市下京区河原町通六条下る ワダビル</p> <p>TEL 351-7127 〒600</p>

企業広告

知的生産のための道具づくり

大工さんにとって"かな"なら、僕にとっては"まいですく"



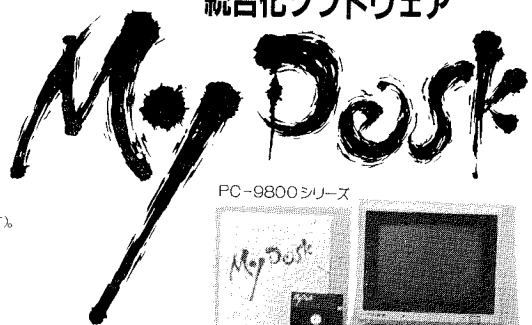
読み・書き・そろばん・現代版



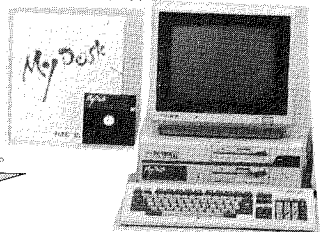
まいですく
PRODUCTIVITY TOOL
MY DESK SINCE 1985

デスクワークを 一枚のディスクに 集約!

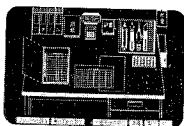
統合化ソフトウェア



PC-9800 シリーズ



今までの机上事務と変わりなくやってください。



使いたいものを使いたい時に使うだけ!

- 鉛筆……日常読み書きするデータを記入(消しゴムで消せます)。
- 万年筆……項目名など残しておきたいデータを記入します。
- 用紙……文書用紙と集計用紙の2種類が用意されています。
- 辞書……用紙に記入する英字、熟語など辞書から引用します。
- ファイル……作成された書類は、すべてファイルの中へ入ります。

文書用紙は鉛筆を使います。

文書用紙

"まいですく"には
2つの用紙が
用意されています。

集計用紙は万年筆と鉛筆が使えます。

集計用紙

ワープロ

作文能力をもった
ワープロ

ワープロは使えても文章を作るとなると、苦勞。そんな悩みも一挙に解決! "まいですく"は参照、転記機能を使い、「きまり文句集」のなかから言葉を選ぶだけで、簡単に文章ができてしまいます。仕事の内容にあわせて「専門用語集」をどんどん創作してください。

■対応機種と価格

対応機種	メディア	価格
PC9801E-F2-M2	5インチ2HD 5インチ2DD 8インチ2D	¥98,000

"まいですく"で
書類管理

参照
転記
検索
集約

表集計

あらゆる計算・集計
シミュレーションに

集計用紙上に項目や数値を入れて、自由自在に集計表や各種管理表をお作りください。単なる集計処理のみでなく経営シミュレーションで、意思決定のお手伝いもします。

グラフ

ビジュアルで報告
表からグラフ作成

印刷

最大B4判まで
縮小可



〒520 滋賀県大津市におの浜3-3-3 ヨシノビル3F
TEL (0775)26-1390(代)・FAX (0775)26-4135

知的生産のための道具づくり——
思考する、創造する、分析する、伝達するなど知的生産を行つたのが現代の「メーカー」「知的生産の道具」……
業務の効率化を図るための道具。そして理解と実行の鍵を握るための道具……
日本ビコムは、これらを実現するために開発しています。

企業広告

選ばれたコーヒー豆
力強い“看板”です



小川珈琲株式会社

京都市右京区西京極北庄境町20番地

電話 (075) 313-7333 (代)

滋賀営業所 滋賀県野洲郡野洲町三上神守田498

電話 (07758) 8-1147 (代)

京のアメ横・秋葉原



営業品目 時計・貴金属・喫煙具・万年筆・
舶来雑貨・ゴルフ用品・電化製品

本店/二条通河原町西 ☎ 211-3408代

支店/百万辺電停東 ☎ 781-4608

支店/京都駅前近鉄百貨店内

グランマルシェ 2F

Be Bridal
TAKAMI

Kyoto・Osaka

京都店/京都市下京区五条通河原町西 TEL075(351)7722
大阪店/大阪市北区浪花町2の25 TEL06(371)7217

小松水産株式会社経営

鮎料理

松 水
しょう すい

滋賀県志賀町北小松 仰煮専門店近江松水
(07759) 6-0251 東山区大和大路団栗下る
事務所 (07759)6-0122 (075) 531-2877

あとがき

•あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひします。

- 既に大雪が昨年12月17日にありました。まだまだ寒さ厳しい折柄くれぐれもご自愛のほどを。
- 厳しい経営環境になりそうな年であり、なお一層経営指導にご活躍されることを期待します。

(編集委員：奥平，福知，塩内，高木，中村，木津，奥村)

診断京都

No. 35

昭和61年1月1日発行

社団法人 中小企業診断協会京都支部

〒604 京都市中京区丸太町通東洞院東

入藤原ビル TEL(075)211-6010

印刷所 真美印刷株式会社

TEL(075)821-2136(代)